

授業科目名	就労支援サービス論			科目コード	K1604P11
英文名	Employment Support Service				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	1単位		
授業の概要	相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度と、就労支援に係る組織、団体及び専門職について、講義を通じて理解する。また、「障がい者雇用」や「生活保護」をはじめとする就労支援分野との連携について理解する。				
キーワード	一般就労	福祉的就労	最低賃金	就労支援	法定雇用率
到達目標	雇用・就労の動向(若者、高齢者、障がい者、母子家庭など)について理解できる。				
	「障がい者」の就労の現状と障がい者雇用施策における就労支援について理解できる。				
	就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について理解できる。				
	就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と連携について理解できる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション：働くことの意味、働く権利について ・雇用・就労の動向(若者、高年齢者、障がい者、母子家庭など)について		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	就労支援制度の概要（１） ・「障がい者」の就労の現状と障害者雇用施策における就労支援について		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第3回	就労支援制度の概要（２） ・障がい者雇用施策における就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	就労支援制度の概要（３） 就労支援制度の概要（３）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第5回	就労支援制度の概要（４） ・障がい者福祉施策における就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第6回	就労支援制度の概要（５） ・就労支援に関わる主な法律、生活保護制度における就労支援制度、ホームレスの実態と支援について ・就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	就労支援分野との連携と実際（１） ・就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と連携について ・自治体、ハローワーク、職業リハビリテーション機関、福祉事務所、障がい福祉サービス事業所等の役割と連携		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	就労支援分野との連携と実際（２） ・就労支援とケアマネジメント、連携・ネットワークについて		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第9回	期末試験 これまでの総まとめ	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ～ 4 は、毎回の小プリントと期末試験(80%)で評価する。 態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%			受講
使用資料 <テキスト>	テキスト：『就労支援サービス論』 社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 最新版厚生労働白書、国民の介護と福祉の	
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。			
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。			
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室			